

2021年2月3日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校
校長 厚田 太加志

2020年度学校教育診断保護者アンケート結果について

立春の候、新型コロナウイルス感染の拡大が依然として厳しい状況にあるなか、保護者のみなさまにはご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。2学期末実施の「学校教育診断保護者アンケート」にご協力をいただきましてありがとうございました。その結果についてご報告申し上げます。この結果をふまえて、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開してまいります。

1. 調査概要

調査目的:本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。

実施日:2020年12月

対象:全校生の保護者

回収:94.0%(591名/629名)

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまり当てはまらない」「D=全く当てはまらない」の回答について、「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、80%以上を「多い」60%以下を「少ない」と表現しています。

(1) 肯定的な回答が多かった項目(37項目中15項目)

- ・学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。 81.6%(2019年82.6%)(2018年80.4%)
- ・学校は、日頃の教育活動や教育内容の情報を積極的に伝えている。 86.1%(2019年82.3%)(2018年78.0%)
- ・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。 90.0%(2019年86.9%)(2018年87.5%)
- ・学校の教育環境は、施設・設備の面で満足できるものである。 93.1%(2019年92.4%)(2018年91.6%)
- ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。 82.7%(2019年84.3%)(2018年83.0%)
- ・学校は生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる。 84.9%(2019年85.5%)(2018年84.6%)
- ・学校は感染症対策についてしっかり取り組んでいる。 85.3%
- ・子どもを本校に入学させて良かったと思う。 84.8%(2019年85.8%)(2018年85.0%)
- ・「7つの習慣J」の授業は意義がある。 80.5%(2019年75.7%)(2018年79.9%)
- ・「日本の伝統文化の学び」の授業は意義がある。 82.4%(2019年84.5%)(2018年85.8%)
- ・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。 91.7%(2019年90.1%)(2018年89.7%)
- ・学校は、地震や台風など非常時の対応を、子ども・家庭に適切に伝えている。 93.6%(2019年92.5%)(2018年94.2%)
- ・家庭では、子どもと学校のことでよく話をする。 84.1%(2019年84.1%)(2018年80.7%)
- ・家庭で、スマートフォンやタブレットなどの取り扱いや必要性などについてきちんと話し合っている。 82.1%(2019年79.6%)(2018年81.9%)
- ・子どもは、情報モラルについて理解し、スマートフォンやタブレットなどを正しく利用している。 87.1%(2019年82.9%)(2018年84.7%)

(2) 肯定的な回答が少なかった項目(37項目中2項目)

- ・育友会活動に参加しやすい。 43.0%(2019年45.3%)(2018年40.9%)
- ・学校のHPをよく利用している。 49.9%(2019年42.0%)(2018年35.9%)

3.まとめと今後に向けて

肯定的な回答が多かった項目は37項目中15項目(2019年度13項目・2018年度15項目)あります。一方、肯定的な回答が少なかった項目が2項目(2019年度3項目・2018年度3項目)あります。また、肯定的な回答が60%を超えているものの、わたしたち教職員が認識しなければならない課題もあります。今年度、教職員の重点目標として、次の2点を挙げて取り組んでまいりました。

(1)「生徒が自らの目標を持ち」「課題を見つけて」「自主的に計画的に学習に取り組む」ことができるように、授業改善に取り組むことを目標に、その方策として、研究授業を定期的に行い、授業改善のための課題を明確にして取り組みました。

「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的回答が65.5%(昨年55.0%)、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」の肯定的回答が69.8%(昨年61.9%)また、同時に実施した生徒アンケートでは、「授業はわかりやすい」の肯定的回答が65.7%(昨年59.4%)「宿題・予習・復習にしっかり取り組んでいる」の肯定的回答が69.6%(昨年61.7%)という結果でした。これらの項目は、まだまだ満足度を高めたいかなければならない重要項目です。

(2)生徒の声を聞き逃さず生徒の想いに応える感性を磨くこと、さらに、学校が楽しく、自らを成長させる場所であることを、生徒が実感できる環境づくりに取り組みました。

「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」が79.2%(昨年76.7%)、一方、生徒アンケートでは、「学校に来るのが楽しい」の肯定的回答が69.8%(昨年71.8%)と昨年より数値が下がりました。

また、生徒アンケートの「学校生活について先生の指導は納得できる」についても肯定的回答が61.6%(昨年60.5%)と「低い」数値という結果が出ました。学校生活は、教職員と生徒、そして生徒同士の信頼関係で成り立っています。教職員が生徒に向き合い、生徒の声や想いを受けとめて取り組む必要性を改めて認識いたしました。

自由記述の意見欄では、厳しいご意見、緊急に解決すべき課題も寄せられました。改善できた内容もありますが、現在検討中の課題もあります。

このようなご意見を全教職員が真摯に受け止め、今後の教育活動に取り組む決意を改めて確認いたしました。保護者のみなさまのご期待にお応えできるよう、全教職員で不断の努力をしまいる所存です。

また、「学校は、感染症対策にしっかり取り組んでいる」については肯定的回答が85.3%と、ご理解ご協力をいただいていることに重ねて感謝申し上げます。感染防止対策と教育活動のありかたについては、その都度感染状況を勘案して検討してまいります。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。